

# 子ども達の未来を考える講座

[講座紹介] 2007年に生まれた日本の小学生が107歳まで生きる確率は50%と予測した学者がいました。今でも社会の変化は急激だと感じますが、それ以上に子ども達は予想もつかない人生の荒波を乗り越えていかなければいけないのでしょうか。そのための土台をつくるのが学校での教育です。この講座では、四つの切り口から、子ども達の未来を拓くために必要なチカラとは何かを一緒に考えていきます。子ども達の夏休み期間中の集中講座になります。先生方のご参加お待ちしております。

時間 水曜日 13:30~15:30 場所 生涯学習センター 定員 30名 受講料 1,200円

回	日程	テーマ (内容)
1	7月30日	<p><b>「体験の大切さを考える」</b></p> <p>学校での体験の質が大きく変化している中、子どもたちの体験活動は家庭や地域に委ねられてきている現状がある。五感を生かした体験活動が子どもの心や体の成長には欠かすことができない。バーチャルの世界では育むことができない体験を学校での集団活動、家庭での原体験、地域での「子育て共同体」創造などの視点から探っていく。そして、今、子どもたちに本当に必要な体験について考えたい。</p> <p>講師 遠藤 敏朗 (元愛媛大学教職大学院特定教授)</p>
2	8月6日	<p><b>「生命の大切さを考える」</b></p> <p>東日本大震災によって多くの大切なものが失われ、復興の途なかばです。子ども達の意識や行動の変容、現地でかかわり続けた現実から学びます。</p> <p>講師 木下 史子 (文部科学省安全教育調査官)</p>
3	8月20日	<p><b>「仕事 (社会の変化への対応) の大切さ」</b></p> <p>シンギュラリティがやってくるのは、20年後とも言われる。AIやロボットが人間の仕事を奪っていく時代がくるのは避けられない現実だ。そんな時代を乗り越えていくために必要な教育について考えてみる。</p> <p>講師 大西 義浩 (愛媛大学教育学部教授)</p>
4	8月27日	<p><b>「地域社会とのつながりの大切さ」</b></p> <p>コミュニティスクールや地域学校協働活動、そして、学校のこれまでの常識が変化する中で地域と学校の新しい関係を、子どもを交えてとり組む実践から学ぶ。</p> <p>講師 柴崎 あい (東温市地域学校コーディネーター)</p>